

## 宇和島市・松野町・鬼北町による 広域人材供給協定

8月24日

県内初、全国的にも珍しい取り組みである、「広域人材供給協定」を市と松野町および鬼北町が締結しました。

この協定は、1市2町が協力して労働力の確保を行うことを目的とするものです。これまで、市外から新しく事業所を設置した場合、雇用等奨励金の対象となる労働者は、市内に住む人のみでしたが、本協定締結後に新規立地する企業については、雇用等奨励金の対象となる労働者は、協定を締結する3市町の住民が対象となります。

この協定により、新しく事業所を設置する企業は、より広い地域から労働者を採用すること



ができ、労働力不足を解消し、企業誘致活動の推進に寄与することが期待されています。

## 歴史と天守が結んだ絆 現存十二天守同盟

7月31日

江戸時代またはそれ以前に建設され、現在も天守を残している12城を有する都市同士で連携を深める、「現存十二天守同盟」に宇和島市も署名しました。

この同盟は、弘前城のある青森県弘前市が提案し、すでに松本城や松山城などと同盟を結んでいます。

弘前市の蛸名副市長は7月31日、市役所を訪問し、互いの都市の強みを活かし、弱みを補完しながら、各都市で情報を共有し、人の交流と文化・経済の交流の活性化を目的とする同盟の趣旨を説明しました。

石橋市長も了承し、各都市の首長が署名した巻物の連盟書に署名しました。



## 「国連平和の鐘 姉妹鐘」 里帰り記念式典

9月5日

大阪府の万博記念公園に保管されている「平和の鐘」の姉妹鐘が宇和島に里帰りし、きさいや広場で記念式典が行われました。

「平和の鐘」は昭和29年、元宇和島市長 故中川 千代治 さんが不戦の願いを込め、世界のコインを集めて铸造し、国連本部に寄贈しました。今回里帰した鐘は、昭和45年の大阪万博期間中に日本に帰ってきた「平和の鐘」の留守番役として国連本部に設置するため、同氏が铸造したものです。

式典では城東・城南・城北中学校を代表して3人の生徒が「世界絶対平和都市宣言」を読み上げ、平和への誓いを新たにしました。式典終了後には参加者が順に鐘を打ち鳴らし、平和を願う厳かな鐘の音が会場に響いていました。



## 第47回宇和島市 婦人バレーボール大会

8月23日

8月23日(日)、第47回宇和島市婦人バレーボール大会が、天神小学校体育館で開催されました。開会挨拶、選手宣誓の後、参加6チームを2組に分けたリーグ戦で試合開始。蒸し暑い中でしたが、どのチームも日ごろの練習の成果を十分に発揮し、楽しくまた真剣にプレーしていました。

優勝：城北

2位：和霊



※詳しい大会結果は、市ホームページに掲載しています。